



Kaspersky
Security Center

単一の統合コンソールですべてのデバイスを一元管理し、効率的な運用を実現

Kaspersky Security Center は、セキュリティ管理やITシステム管理の運用を効率化します。企業のセキュリティ要件に沿って柔軟に拡張できる管理ソリューションで、単一の統合管理コンソールを利用してシステムとセキュリティを包括的に管理することができます。また、管理業務を複数の管理者に割り当てることで管理者の業務負担を軽減できます。

管理の一元化、拡張性および柔軟性

管理するワークステーションの台数、ITインフラストラクチャの構成が集中型、分散型、または複合型かを問わず、Kaspersky Security Center が提供する単一の管理コンソールを利用してシステムを保護するために必要なセキュリティコンポーネントのインストール、設定、管理を簡単に実行できます。マルチプラットフォームのモバイル端末管理、脆弱性監査およびパッチ管理をより効率的に行うことができます。また、ネットワーク上でアクセスおよび実行が可能なデバイスやアプリケーションをコントロー

ルすることもできます。Kaspersky Security Center は多層型のセキュリティ技術および管理技術が組み込まれており、これらの技によって提供される強力な保護機能を同じ管理コンソールから操作できます。企業が運用しているシステムの規模や複雑さを問わず Kaspersky Security Center は、お客様のセキュリティ要件に沿ったセキュリティシステムを構築でき、効率的な運用管理を実現します。

包括的なセキュリティと高度なアクセスコントロール

セキュリティの一元管理によって運用管理業務を可視化することで、管理コストの最適化と管理業務を改善することができます。Kaspersky Security Center には、カスペルスキーが提供するセキュリティコンポーネントで構築されたセキュリティプラットフォームと高度に連携して管理するためのテクノロジーおよび管理ツールが搭載されています。

- **エンドポイントセキュリティの導入、設定、管理**によって、ネットワーク上のすべてのエンドポイントおよびデバイスの保護を最新の状態に保ちます。
- 一元化された Web コントロール、アプリケーションコントロールおよびデバイスコントロールによって、業務に必要がなく安全でないデバイス、アプリケーションの利用、または Web サイトの閲覧を制限または禁止することができます。
- ノートPCの盗難、紛失やマルウェア攻撃による情報漏洩の脅威が増加している中、一元管理された**暗号化機能**で、情報漏洩を防止します。
- **モバイル端末のセキュリティおよび端末管理**によって、複数のプラットフォームやデバイスを同じ管理コンソールから一元管理できるため、システムの保護状態を詳細に把握でき、お客様のセキュリティ要件に沿った柔軟なセキュリティを容易に設定でき、システム管理者の作業負担を軽減します。
- **脆弱性監査と高度なパッチ管理**によって、迅速な脆弱性の検知、重要度の優先順位付け、修復作業を単一の管理コンソールで効率よく作業することができます。
- **拡張されたクライアント管理ツール**が、ハードウェアおよびソフトウェアのインベントリ (IT資産)、OS のイメージ作成、ソフトウェアのリモート配信、問題発生時のトラブルシューティングなどの IT セキュリティ管理に必要なタスクを自動化でき、一元管理します。

主な機能と特長

かんたんなインストールですぐに使える

IT 管理の担当者が多くの管理業務を抱えていたり、担当者を増員できない企業にとって有効な管理ソリューションです。カスペルスキーが事前に設定したポリシーを活用してお客様のセキュリティ要件にあったポリシーを容易に作成できます。

柔軟なセキュリティ管理

- Windows、Linux および Macのコンピューターにセキュリティポリシーを適用して一元管理します。
- ホストベース侵入防止システム (HIPS) およびファイアウォールを管理します。
- ワークステーション、ファイルサーバー、または個々のデバイスをグループごとに分類したセキュリティを設定します。
- クラウドベースの Kaspersky Security Network (KSN) から提供される脅威情報を活用した保護を管理します。
- 高度な保護のために、アプリケーションコントロール、デバイスコントロール、Web コントロールを一元管理します。
- 業務上好ましくないプログラムの実行を禁止するためのアプリケーションコントロールポリシーを定義します。
- 利用者がネットワークに接続するあらゆるデバイスに対するアクセス権を管理します。
- Web サイトへのアクセス権限を監視、制限し管理します。
- 暗号化と高度に統合されたセキュリティポリシーの設定により、万が一デバイスやファイルが紛失または盗難にあった場合でも外部への情報漏洩を防止します。
- アプリケーションコントロールおよびデバイスコントロールと組み合わせて暗号化ポリシーを設定し、管理します。

リモートオフィスのサポートやあらゆる規模の企業に対応する拡張性の高いセキュリティ

ビジネスの拡大に伴って従業員数が増加しても、Kaspersky Security Center の管理コンソールは管理者の管理業務の担当範囲を分割して割り当てることができ、新しいオフィスのセキュリティ管理を簡単に分離して管理することができます。役割ベースのアクセスコントロール機能によって、管理者ごとに異なるセキュリティまたはシステム管理の管理業務の担当範囲を割り当て、各管理者がそれぞれの担当業務に必要なツールやデータにのみアクセスできるよう管理コンソールをカスタマイズすることができます。

最大で 100 万の Active Directory オブジェクトと、役割ベースのアクセスコントロールおよび設定プロファイルが提供され、複雑な IT 環境を管理する煩わしさが解消されます。一般的に利用されている SIEM (イベントログ管理) ツールや 汎用の SIEM システム向けログコネクタを利用してログデータを送信することができます。また、詳細なレポートの作成が可能になり、セキュリティ対策をより強化できます。

異なる機種が混在して稼働するITインフラストラクチャのサポート

Windows、Linux、Mac、Android、iOSおよび仮想デスクトップインフラストラクチャのすべてを同じ管理コンソールで保護し、管理できます。

便利なモバイルセキュリティ管理

Android、iOSを含む一般に広く普及しているモバイル端末のすべてを、他のエンドポイントと同様に管理します。

- 利用者がモバイル端末で Web にアクセスするルールを Web コントロールで管理でき、悪意のある Web サイトや不適切な Web サイトへのアクセスをブロックし、個人情報や個人認証情報を盗み取る可能性があるフィッシングサイトから利用者を保護します。
- アンチスパム機能によって迷惑な電話やテキストメッセージをフィルタリングして、受信をブロックします。
- root 化または脱獄された端末による企業のアプリケーションやデータへのアクセスを防止します。
- 盗難対策機能によって、紛失または盗難にあったモバイル端末のロック、端末に保存されているデータの消去、GPS による現在地の追跡を実行できます。管理者または利用者は各個人に用意された専用のポータルから当該端末に対して直接操作できます。
- コンテナ化機能で個人のファイルから分離し、企業のアプリケーションおよびデータを保護します。また、選択的消去機能をリモートから操作して、企業のコンテナ全体を削除します。
- 単一の管理コンソールから異なるプラットフォームの MDM 機能にアクセスして、統一されたモバイルセキュリティポリシーを適用できます。

仮想化環境のサポート

- カスペルスキーの仮想サーバーおよびデスクトップ環境向けセキュリティソリューションも他のエンドポイントと同様に保護し、管理します。仮想化環境を保護する Kaspersky Security for Virtualization Agentless または Kaspersky Security for Virtualization Light Agent も Kaspersky Security Center を利用してセキュリティアプリケーションを一元管理できます。
- 仮想マシン (VM) の稼働状態を監視し、負荷の高い処理が実行されている時は適時負荷分散を行い、パフォーマンスの低下につながるアンチウイルスの「ストーム」の発生を回避します。これらの機能はすべて、同じ管理コンソールから実行できます。

コラボレーションとコミュニケーションのサポート

Kaspersky Security Center は Kaspersky Security for Exchange Servers(※1)、Kaspersky Security for Linux Mail Server、Kaspersky Secure Mail Gateways(※1)、Kaspersky Security for SharePoint(※1) も一元管理します。

脆弱性監査とパッチ管理

Kaspersky Security Center は、オペレーティングシステムやアプリケーションの内部に潜む脆弱性を検知して、パッチを迅速に適用できます。

- 企業ネットワーク全体をスキャンして、脆弱性を自動的に検知し、重要度の優先順位を付けます。
- Microsoft および Microsoft 以外のソフトウェアの、パッチやアップデートも自動的に配信します。
- アップデートエージェントとしてリモートのワークステーションを使用でき、アップデートに伴うリモートオフィスの通信トラフィックを削減します。
- 脆弱性レポートでパッチの適用後の状態を確認できます。
- アップデートに関する問題をリモートから解決できます。

※1:Kaspersky Security for Exchange Servers、Kaspersky Secure Mail Gateways、Kaspersky Security for SharePoint は、日本で未販売の製品です。

IT 資産管理

- ネットワーク上にあるすべてのハードウェアおよびソフトウェアを自動的にスキャンして、インベントリに記録し、管理と保護が必要になるすべてのIT資産を可視化します。
- 新しいワークステーションのセットアップや新しいアプリケーションの導入に要する作業時間とリソースをソフトウェアの自動プロビジョニングによって低減します。
- ソフトウェアの導入はコマンドで直ちに実行できますが、業務時間外の任意の時間にスケジュールして実行することもできます。また、追加のパラメータを指定して、運用環境に合わせたインストールパッケージを作成できます。
- リモートから利用者のワークステーションに安全にアクセスするための認証メカニズムとリモートセッションのログ管理を提供します。
- 保護されたシステムイメージの作成、保存、クローンの作成を一元管理し、OS の 導入に要する時間を短縮でき、作業の効率が向上します。UEFI 方式をサポートしています。

高度なレポート機能

事前に用意された標準レポートやカスタマイズ可能なレポートが提供され、すべてのレポートで自由に検索できるカスタムフィルターを利用できます。確認したい情報を任意の項目でフィルタリングと並び替えることで見やすいレポートに調整できます。Kaspersky Security Center は、必要に応じて管理対象のバージョン比較や障害が発生する前の正常な状態に復旧するために必要な Kaspersky Security Center および管理対象アプリケーションの設定、ポリシー、タスクに対するすべての変更情報を記録して保存できます(デフォルトの保存期間は 3 か月で、保存期間を変更することもできます)。

安全にリモートから管理

Webベースの管理 コンソールからエンドポイントおよびモバイル端末をリモートで安全に管理できます。

購入方法

Kaspersky Security Center は、以下のライセンスに含まれます。

- Kaspersky Endpoint Security for Business | Select
- Kaspersky Endpoint Security for Business | Advanced
- Kaspersky Hybrid Cloud Security
- Kaspersky Hybrid Cloud Security | Enterprise
- Kaspersky Security for Mail Server
- Kaspersky Vulnerability and Patch Management

株式会社カスペルスキー

製品情報：<https://www.kaspersky.co.jp/business-security/security-center>

ご購入相談窓口：jp-sales@kaspersky.com

www.kaspersky.co.jp
#truecybersecurity

©2019 Kaspersky Lab. All rights reserved.
KasperskyおよびカスペルスキーはKaspersky Labの商標登録です。その他記載された製品名などは、各

